

令和2年12月8日
第4回高知県地球温暖化対策実行計画推進協議会

説明・協議事項（3）

その他

高知県地球温暖化対策実行計画

写真

～県民・事業者のみなさんへ～

高知県地球温暖化対策実行計画は地球温暖化対策に関する県の取り組み方針を示したものです。

2011年に策定し、2020年3月に改訂（第2回）を行いました。本計画で高知県は、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年比で16%削減することを目標とし、長期的な目標として、温室効果ガス排出量実質ゼロ、脱炭素社会の実現を目指します。

高知県は、豊かな自然環境や地域資源を最大限に活用した「**こうちの自然を活かし、豊かに暮らす脱炭素社会**」を目指します。

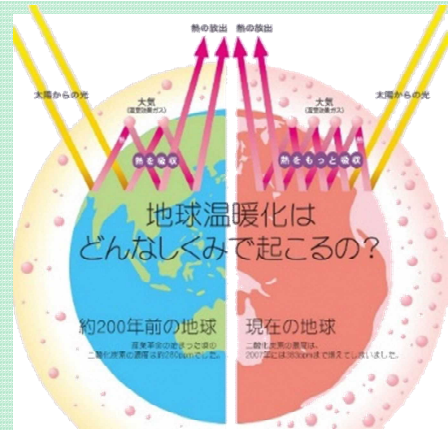
高知県

2021年3月

地球温暖化とは？

地球温暖化はどのように起きるの？

大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスは、地表から放出される熱を吸収して地球上の平均温度を保つことで、私たちが生きていくために大切な働きをしています。しかし、大気中の温室効果ガスが増え続けると、平均気温がどんどん上昇してしまいます。これが『地球温暖化』です。



全国地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化による高知県への影響は？

気温の上昇

高知地方気象台の観測によると、高知県の年平均気温は長期的に上昇しており、100年あたり1.5℃（統計期間：1886～2018年）の割合で上昇しています。

農作物への影響

高温のために農作物が正常に成長せず、お米が白く濁る、梨の果肉部分が茶色くなるなどの影響が確認されています。



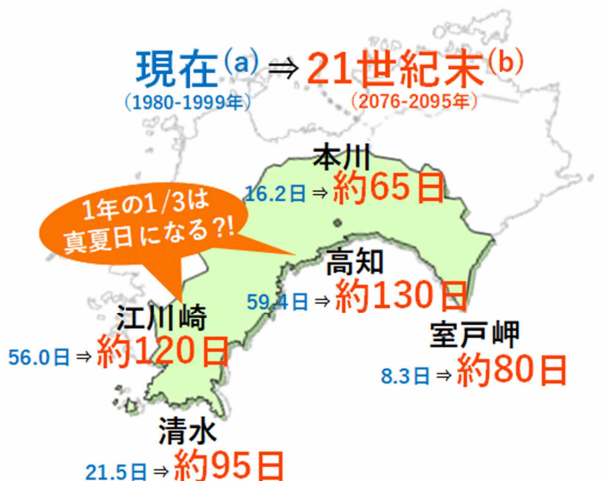
健康への影響

熱中症は増加傾向にあり、本県の10万人あたりの熱中症による救急搬送人員数は、2019年に70.44人と全国で8番目に多く、四国の中では本県が最も多くなりました。

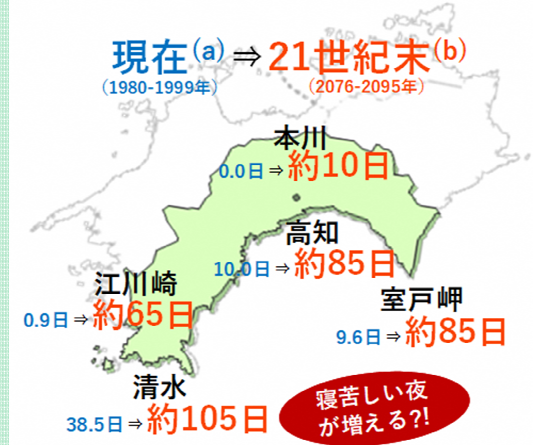
真夏日、熱帯夜の増加

気象庁の気候変化予測では、20世紀末に比べて21世紀末は県内各地で真夏日は50-75日程度、熱帯夜は10-75日程度増加することが予想されています。

真夏日（最高気温が30℃以上の日）の予測



熱帯夜（夜間の最低気温25℃以上、ここでは日最低気温25℃以上の日）の予測



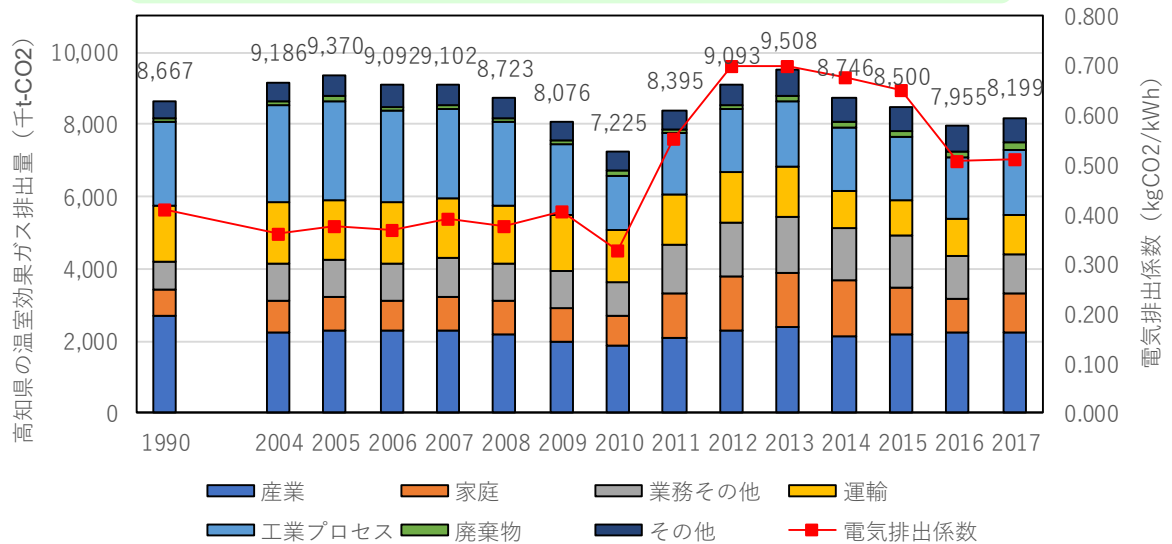
「高知県地球温暖化対策実行計画」の計画期間・基準年

■ 計画期間：2017 年度～2030 年度

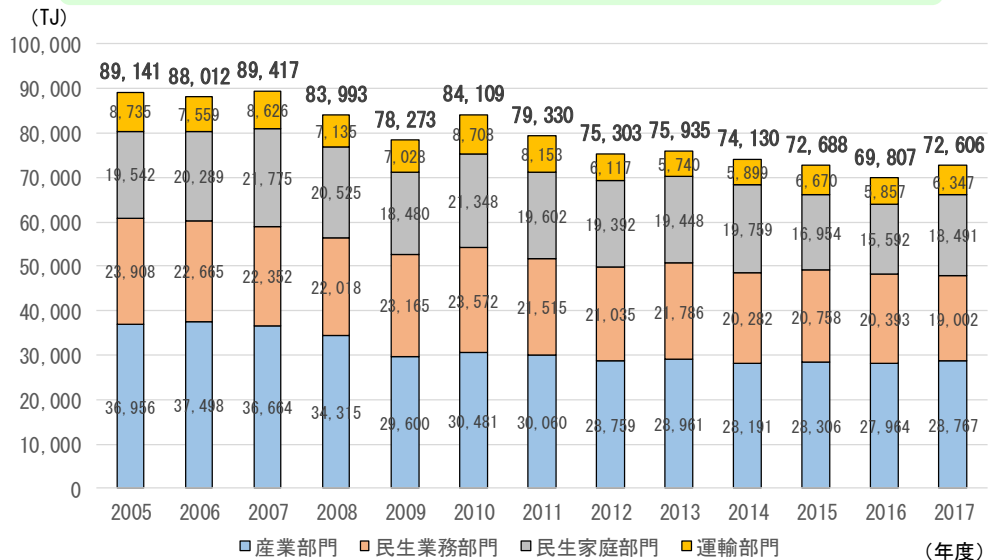
■ 基準年：2013 年度

高知県の温室効果ガス排出状況の推移

本県の部門別温室効果ガス排出量と電気の CO2 排出係数の推移



本県のエネルギー消費量の推移



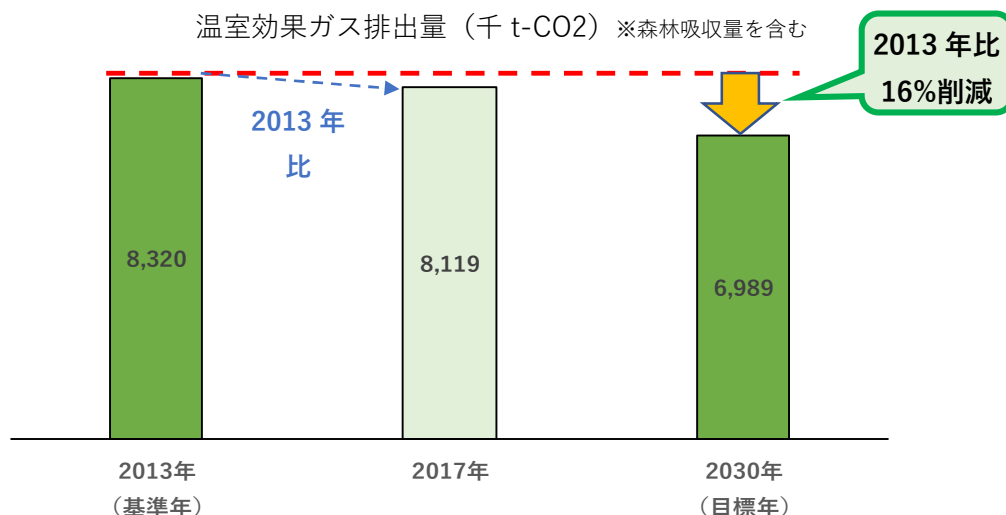
資料：都道府県別エネルギー消費統計（経済産業省）

- 温室効果ガス排出量の推移を見ると、2011 年から 2013 年にかけて増加し、以後は減少傾向にあります。
- エネルギー消費量の推移を見ると、2005 年以降減少傾向が続いています。
- 一方、電気の CO2 排出係数をみると、2011 年以降は東日本大震災の影響により、大幅に排出係数が悪化しています。
- エネルギー消費量が減少している一方で温室効果ガス排出量が大きく変動していることから、2011 年以降の本県の温室効果ガス排出量は、電気の CO2 排出係数の影響による部分が大きいと考えられます。

高知県の温室効果ガス排出量の削減目標

削減目標

2030年までに基準年（2013年）の
温室効果ガス排出量から **16%削減***を目指します。
（*電気のCO₂排出係数は基準年で固定、森林吸収量を含めた削減量）



「高知県地球温暖化対策実行計画」の目指すべき将来像

目指すべき将来像

ここの自然や資源を活かし、豊かに暮らす脱炭素社会

～高知の豊かな自然環境、地域資源を活用した脱炭素社会の実現～

本計画では、次のような視点を取り入れながら、目指すべき将来像の実現に向け、取組を進めていきます。

- 豊富な再生可能エネルギー資源を活かし、再生可能エネルギーの導入を促進し、発電時のCO₂排出削減を進めます。
- 森林率全国一や、東西に長い海岸線を持つなどの本県の特徴を活かした温室効果ガスの吸収源対策を進めます。
- 本県の地域資源を活かし、既存の素材を環境負荷の少ない、再生可能な素材へと置き換えていく取組を進めます。
- 脱炭素社会の実現に向け、経済社会の大きな変化に対応していくための様々な取組の中にも、地球温暖化対策がしっかりと位置づけられるよう、普及啓発等の取組を進めていきます。

高知県の取り組み

地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出量抑制の取り組みを「緩和策」といい、地球温暖化による影響に対する強靱性の向上、また、脆弱性を減少させる取り組みを「適応策」といいます。

本県では、地球温暖化対策として、次に示す 10 分野の施策（緩和策）と、適応策を実施します。

緩和策について

施策表

施策表

施策表

みんなができる地球温暖化対策

家庭でできる地球温暖化対策は？

県民の取組

県民は、省エネ行動の実践、省エネ家電等の購入、ごみの減量化などの家庭における取組、エコドライブやマイカーの使用自費等マイカーにおける取組について、積極的に実践することが重要です。

1 冷房は28℃、暖房は20℃を目安にする

クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して過こしましょう。扇風機を併用することも有効です。

年間約 31kg の CO₂ の削減
年間で約 1,840 円の節約



2 照明の点灯時間を短くする

だれもいない部屋の照明をつければなしにしないと、点灯時間を短くしましょう。白熱電球(54W)の点灯時間を1日1時間短くすると

年間約 7kg の CO₂ の削減
年間で約 430 円の節約



3 テレビを見ないときは消す

見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。

液晶テレビの視聴時間を1日1時間



4 パソコンを使わないときは電源を切る

パソコンを使わないときはスリープモードにするか、電源を切るようにしましょう。

デスクトップ型パソコンの使用時間



要検討

7 ゼロエミッション住宅にする

- ◇太陽光発電、太陽熱温水器、ヒートポンプシステム（電気・ガス）を導入しましょう。
- ◇エコガラスや全熱交換型換気扇等を設置しましょう。
- ◇省エネルギータイプの家電（エアコン、テレビ、蛍光灯器具、冷蔵庫等）を購入しましょう。
- ◇給湯器は、高効率機器を導入しましょう。



1 車は必要な時だけ使う

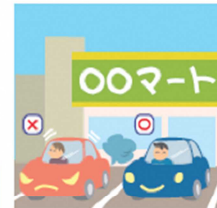
通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康的です。



2 エコドライブをこころがける

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。発進時には、ふんわりアクセル（5秒間で20km/h）を、まだできるだけ加減速の少ない運転をこころがけましょう。

年間約 302kg の CO₂ の削減
年間で約 15,620 円の節約



※上記の削減効果は、省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典 2010年版」による

事業者の皆さんができる地球温暖化対策は？

事業者の取組

事業者は、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入や省エネ機器の導入、環境マネジメントシステムの導入、社員へのエコドライブの徹底などについて、積極的に取り組むことが重要です。

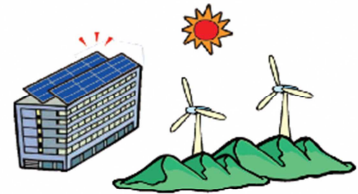
1 環境経営の促進

- ◆ 専門家の派遣による省エネ診断
- ◆ ビルエネルギー管理システム(BEMS)等の見える化技術の導入
- ◆ OA 機器等のエネルギー使用機器や設備の省エネ化
- ◆ エコアクション 21 や環境マネジメントシステムの導入
- ◆ クールビズやウォームビズなどオフィスでの「エコスタイル」の取組
- ◆ グリーン購入(グリーンサービスを含む)の推進
- ◆ IT による省エネ化(システムの見直し、IT 会議、電子申請等)の推進



2 再生可能エネルギーの導入

- ◆ 太陽光発電や太陽熱温水器等の再生可能エネルギーの導入
- ◆ 風力発電等の自然エネルギーの発電利用に向けた取組
- ◆ オフセット・クレジット等を販売することによる外部資金の導入



要検討

- ◆ 計画的な間伐等適正な森林経営の推進
- ◆ 住宅や公共施設等の建築物への県産材の積極的な利用
- ◆ 間伐材等未利用バイオマスの燃料化
- ◆ 木質ペレットを使用するストーブやボイラーの導入



5 園芸施設の省エネ化等



- ◆ 施設栽培での保温対策や効率的な加湿方法の普及による省エネ
- ◆ 全国トップとなっている天敵昆虫等を活用した IPM 技術の普及による化学農薬の削減
- ◆ 農業者・農業団体と消費者との交流活動による地産地消の推進
- ◆ 地球温暖化に対応した新品種の育成